

BCJ-SAR ISOだより Vol.24



財団法人 日本建築センターシステム審査部
〒101-8986東京都千代田区外神田6-1-8

TEL 03-5816-7522

FAX 03-5816-7544

ホームページ <http://www.bcj.or.jp>

Eメール sinsa@bcj.or.jp

ISOだよりの所有権はシステム審査部に帰属します

我が社のISO(その22)

『見えていない所(弱点)が見えてくる』

当社は、東京都練馬区に本社を構え、官公庁・民間の管工事及び管工事に付随する土木工事を手がけている設備会社です。

2003年7月に、ISOをキックオフし、コンサルタント(株)S事務所の御指導を受け、書類審査、実地審査を経て2005年5月に認証登録となり今年度で2回目の再認証審査を無事にパスしました。

*

少人数の当社が、ISOに取り組むきっかけになったのは官公庁の入札制度改革で経審の点数が上がる旨を知ったからです。

導入当初は、私を含め全社員が『点数を上げる為に、しょうがないからやっている』という風潮があり規格用語に振り回され、審査にパスするためだけの形式的な書類作成が優先順位を占め、何をやっているのかがさっぱり分からず、無駄のように思えました。

(財)日本建築センターの審査を何度か受けていて『当社の為のISO』と言う意味が良く分かり、現在では『ISOは苦痛ではなく、むしろ楽しく』なってきました。

楽しくなってきた最大の理由は次のようなことです。

株式会社 上杉設備

代表取締役

上杉 貴志



- ① 当社の弱点を克服する為に、何をすべきなのかが明確になりその明確になったものを全社員が情報として共有できる。
- ② 是正改善を繰り返す事が、全社員及びお客様への幸せに繋がる。
- ③ 1~100を望むのではなく、コツコツとまた着実にできる事を増やし次のステップに繋げる。

《むすび》

まだまだ、ISOの運用が社内全体に浸透してきたとは言えませんが、少しずつでも会社のレベルアップ及び社員のスキルアップを図っていきたいと考えています。

● (株)上杉設備の概要

昭和36年 (有)上杉設備工業所を設立

平成4年 (株)上杉設備に商号変更

現在に至る

● 主な事業内容

上下水道設備、衛生設備、空調設備に関わる管工事及び管工事に付随する土木工事

● 所在地：東京都練馬区

審査員の日(その25)

園部 浩一郎



システム審査部
登録審査員
CEAR登録主任審査員

『効果的な内部監査に向けて』

EMSの運用における重要なポイントの一つに内部監査がある。その内部監査を効果的に実施するためのチェックポイントについて、断片的ではあるが思いつくまま書いてみたい。

*

- (1) 組織内部で内部監査の重要性が共有されているか

内部監査の結果を経営層に提供することがISO14001規格の要求事項にあるように、PDCAのC段階にある内部監査は次のAに反映される重要な位置づけにある。

*

- (2) EMSの有効性、適切性に踏み込んでいるか

規格要求事項に沿ったEMSとなっているか、自ら決めた手順通り行っているかという視点に加え、規格要求事項を自組織で活用できるように取り込んでいるか、実施内容が適切かという一步踏み込んだ視点が必要である。

*

- (3) 内部監査員の教育は初期教育だけで終わっていないか

年1回の内部監査だけでは、監査員としての力量はなかなか向上しないのが現実である。核となるべき対象者には計画的に監査経験を積ませたり、レベルアップ教育などを行うのがよい。

*

- (4) 内部監査員は内部監査の準備に時間を割いているか

内部監査員が何の準備もなしに内部監査に望んでも、表面をなぞるだけの監査になりがちである。少なくとも、監査基準に目を通し、前回監査以降EMSに影響を与えるような変更があったかの情報を入手するのがよい。

*

- (5) 確認項目(チェック項目)について表面的な〇×だけとなっていないか

例えば、記録のあるなしだけでなく、適切な対応がとられているか記録の内容を確認する。記録がない場合も、なぜ記録が残されていないのか、一步踏み込むとシステム上の問題点が見えてくることもある。

*

- (6) つながりとして見ているか

組織の仕事は自分ひとりで完結するわけではない。つながっている。著しい環境側面や法的及びその他の要求事項など、EMSの中心となる要素もEMSの必要などころでつながっていることを確認する。

*

- (7) 是正処置は不適合の原因を除去したものとなっているか

「是正処置」と称していても、内容は「修正」に止まっていることが意外と多い。是正処置は原因を除去する再発防止策であり、修正は不適合の状態を元に戻すだけである。原因が除去されていないと、再度同じ不適合が生じる可能性が残っている。



■ JIS Q 9001の追補改正による 対応について ■

JIS Q 9001:2008の発行に伴い、2008年12月2日付け(BCJ-QMS-08-002)「発行に伴う認証の移行について」にてご案内させて頂いたとおり認証を移行期限(2010年12月19日)までに2008年版に切り替えて頂く必要があります。

2008年版への移行に係る審査は、通常のサーベイランス又は再認証審査時に実施いたします。

2009年12月20日以降は2000年版に基づく初回審査又は再認証による認証登録証の発行は致しませんのでご注意ください。

移行期限までに切替えない場合は認証取消となりますのでご注意ください。

■ ISO/IEC17021移行認定 に伴う認定シンボルの変更について ■

JAB認定シンボル及びシステム審査部認定番号が変更になりました。品質と環境では新しい認定シンボル等への変更期限が異なりますので、ご案内いたします。

	品質	環境
JAB認定シンボル及びシステム審査部認定番号の変更 品質:CM018 環境:CM055	2008/5/1 ～ 2010/6/30	2008/9/1 ～ 2010/10/31
組織認証番号表記の変更 品質: BCJ-QMS- 環境: 変更はありません		

■ 今後開催される認証判定会議の日程は下記の通りです ■

品質、環境とも同日開催です。

平成21年	
8月25日(火)	13:00～
9月16日(水)	13:00～
10月28日(水)	13:00～
11月25日(水)	13:00～
12月16日(水)	13:00～
平成22年	
1月27日(水)	13:00～
2月24日(水)	13:00～
3月24日(水)	13:00～

(財)日本建築センター(東京都千代田区)にて開催致します。



■ 再認証を迎える 組織の皆様へ



審査時期によっては、審査が混み合う事が予想されますので、余裕をもって再認証申請書(品質)又は再認証申請書(環境)をご提出されますようお願いいたします。

(再認証申請書の他に「申請者調査表」の提出が必要になります。)

申請書及び調査表は(財)日本建築センターホームページ(<http://www.bcj.or.jp>)よりダウンロードして戴くか、「QMS認証の手引き(QMR42)」又は「EMS認証の手引き(EMR42)」の関連様式をご利用下さい。

なお、ご不明の点等がございましたら下記までお問い合わせ下さい。



システム審査部

TEL 03-5816-7522

FAX 03-5816-7544

システム審査部職員の紹介



システム審査部 登録課長
佐藤 正尚

6月に人事異動でシステム審査部に配属になりました佐藤です。

システム審査部が、マネジメントシステムの認証業務を開始してから、早13年が経過いたしました。

私は、そのうち1996年の業務開始から2006年までの10年間を、審査課長としてシステム審査業務に携わりました。

また、1999年には、品質の主任審査員資格を得て、豊富な審査経験も有していますので、お客様である認証組織が、認証機関に求めているものを熟知しています。

今後は、登録課長として、今までの経験を生かし、認証組織の方々とのコミュニケーションを大切にして、良きパートナーとしてお役に立ちたいと考えています。

9月には、東京と大阪で「認証組織の集い」を開催いたしますので、是非ご参加下さるようお願いいたします。



システム審査部 審査課長
梅澤 博司

審査課長の梅澤です。日頃審査活動にご協力頂き大変有難うございます。

私は1999年に品質の主任審査員資格を取得後、審査員として数多くの審査を経験する一方、審査活動の取りまとめ役としてシステム審査部の全審査員に対し指導、監督を行っております。また、認証組織の皆様のご協力を頂き、審査の立会い評価により審査員を監視評価し、審査の質向上に努めております。

QMS審査では、製品の提供を受けられる顧客の代表として、また、EMS審査では、活動などに対する利害関係者の代表として審査をするよう心掛けており、それがひいては認証組織の方々のためになると考えております。

これからも皆様のご期待に沿えるような審査を実施して参りたいと思いますので、

審査活動におきましてお気付きの点などございましたらご遠慮無くお申し付け下さい。

「認証組織の集い」開催のご案内

■システム審査部では組織の皆様との情報交換を図るため、「認証組織の集い」(参加費用無料)を開催しております。

9月に東京と大阪において次のとおり開催することになりましたので、是非ご参加下さるようお願いいたします。

なお、「開催案内」は後日送付させていただきます。

東京会場

9月11日(金) 14:00～17:00
(財)日本建築センター

東京都千代田区外神田6-1-8

大阪会場

9月18日(金) 14:00～17:00
健保会館：大阪府中央区和泉町2-1-11

問い合わせ先

システム審査部登録課
佐藤、小林

TEL 03-5816-7522

FAX 03-5816-7544

編集後記

システム審査部は、品質マネジメントシステムについて本年3月に(財)日本適合性認定協会による第9回サーベイランスを受けました。その結果、7月15日付けにて認定の継続が承認されました。

引き続き審査員、システム審査部職員ともに皆様のお役に立てるよう努力していくつもりでおります。

ISOだよりに対するご意見をお寄せ下さい。

「ISOだより」のバックナンバーは、(財)日本建築センターホームページ(<http://www.bcj.or.jp>)の「ISO審査」でご覧戴けます。

